

平成 23 年度事業報告書

平成 23 年 7 月 1 日から平成 24 年 6 月 30 日まで

特定非営利活動法人 カーボンシンク

1 事業実施の方針

平成 23 年度の事業実施の方針は以下であった。

持続可能な社会づくりについては、家庭や企業の省エネ・CO2 削減や地域の森林活用といった分野を中心に一定の成果を得ることができた。

一方で、ライフスタイルの転換を促す事業や仕組みづくりに関して、自治体や企業と実効性ある協働体制が構築できず、テーマ設定や事業の組み立てなど、カーボンシンクの活動方法に関する再検討が必要ではないかとの認識に至った。

本年度は、以上の状況を踏まえ、一般市民や企業が参加する事業を通じて、持続可能な社会づくりに向けた課題や将来像を共有する機会を増やすなかで、カーボンシンクの新たな活動方針を見出すことを目的とする。

同時に、昨年度までに整備が進んだ、ホームページ、kikito バンク、省エネガイド等のツールも活し、講座、研修・学習会、インターネットラジオ等を通じて、情報発信に努め、カーボンシンクの知名度拡大も目指す。

2 事業の成果・課題

(1) 総会・理事会・ミーティング・事務局活動など

【総会】

○第 5 回総会

平成 23 年 9 月 17 日（土）草津市まちづくりセンター 出席（会員： 名）

議題：理事交代・選任、運営方針について など

【理事会】

○第 7 回理事会

平成 23 年 7 月 5 日（火）琵琶湖環境科学研究センター 出席（理事：5 名、事務局 2 名）

議題：理事交代・選任、会費見直し、平成 22 年度事業報告、平成 23 年度事業計画 など

○第 8 回理事会

平成 23 年 9 月 17 日（土）草津市まちづくりセンター 出席（理事：4 名）

議題：理事交代・選任、会費見直し、平成 22 年度事業報告、平成 23 年度事業計画 など

【ミーティング】

○平成 23 年 7 月 15 日（金）草津市まちづくりセンター 出席会員：7 名

議題：平成 22 年度事業報告、平成 23 年度事業計画 など

○平成 23 年 12 月 12 日（月）草津市まちづくりセンター 出席会員：6 名

議題：平成 22 年度事業報告、平成 23 年度事業計画 など

○平成 24 年 4 月 26 日（木）草津市まちづくりセンター 出席会員：8 名

議題：セミナー報告、助成金申請、事業検討、アイデア検討 など

(2) 「特定非営利活動に係る事業」

「低炭素社会実現に向けた事業の企画立案及び実施」

① SSBI（滋賀持続可能ビジネスイニシアティブ）事業

《計画》

SSBI は3年間のふるさと雇用を活用し事務局を運営したため、今年度が最終年度となる。中小企業を対象とした省エネ・CO2削減支援を、具体的な仕組みとして残すべく、診断スタッフ、事務局体制、組織づくりなどを進める。

さらに、県内の中小・ベンチャー企業向け環境デザイン研究会（生物多様性、BOPビジネス、環境デザインの計3回予定）の開催を通じて、企業ネットワークの構築を進める。

（重点テーマ）

- 省エネ・CO2削減ネットワークの拡大と充実
- 環境デザイン研究会の開催

《成果と課題》

- ・ SSBI については、3年間の活動で、省エネガイド、省エネ診断ネットワークの形成、関心ある企業向け研修会などが主な成果として残った。一方で、継続的な事務局運営の担い手がみつからず、当面は活動を休止し、滋賀県経済産業協会事務局において連絡窓口のみ継続することになった。
- ・ 環境デザイン研究会を2回開催した。参加者はいずれも20名程度で、特に、北九州市が取り組む「アジア低炭素化センター」への関心が高く、アジアを中心とした海外への技術移転に対する関心の高さと、支援の仕組みの必要性を把握できた。

研究会「ビジネスフロンティア 次世代の動きを探る」

- 第1回“生物多様性”を企業経営に生かす 参加企業数：16社
日時：平成24年1月16日（火）午後2時から午後4時まで
講師：吉野 元（株式会社レスポンスアビリティ）

- 第2回“BOPビジネス”という新たな展開 参加企業数：14社
日時：平成24年2月2日（木）午後2時から午後4時まで
講師：飯塚 誠（北九州アジア低炭素化センター）

「低炭素社会実現に向けた日常生活に関するアドバイスにかかる、実態調査・分析及び情報提供」

② kikito（湖東地域材循環システム協議会）事業

《計画》

固定認証を活用した「kikitoバンク」の利用拡大を目的に、東近江近隣の市町（森林協定を締結）、並びに、固定認証の導入を検討中の「港区の取り組み」等に対する、企画提案、並びに情報提供支援を行う。バンクの電子化は、多額のコスト（800万円程度）がかかるため、助成金等の獲得を進める。

（重点テーマ）

- 湖東地域の自治体ネットへのバンク導入検討
- 港区ネットワーク等をパートナーとしたバンクの全国展開検討 など

《成果と課題》

- ・森林協定を締結した東近江地域の市町に関しては、kikito の活動において、森林吸収認証検討委員会への参加をえて、関心を高めることができた。
- ・港区の取り組み並びにバンクの電子化は、資金獲得に至らず事業に着手できなかった。
- ・森林におけるCO₂吸収並びに固定の認証制度構築は、一定の成果をもって終了したが、東近江地域など市町の取り組みに対する制度構築支援が今後の課題として残るため、今後ともkikito（湖東地域材循環システム協議会）との協議や連携は継続が必要である。

③ 滋賀県電器商業組合 省エネ技術者 講習会(新規)

《成果と課題》

- ・平成20年度から実施した「滋賀県家庭版ESCO事業」において、省エネ診断員を担った滋賀県電器商業組合の会員に向けた講座を実施した。
- ・“地球温暖化防止に次くるもの”というテーマで、共有家電、非電化家電、直流家電などをとりあげ、今後のエネルギー状況や社会状況の変化への対応を考えた。
- ・修了者には、省エネ診断員の修了証書を授与した。滋賀県電器商業組合とは、今度とも必要に応じて連携を継続することになった。

日時：平成24年6月18日（月）午前9時から午後4時まで（継続、新規の2回）

講師：堤 幸一（カーボンシンク事務局長）

「低炭素社会実現に向けた市民啓発・情報提供」

④ インターネットラジオによる情報発信事業「くせになるラジオ～カーボンシンキング！～」

《計画》

環境分野を中心とした、情報発信と交流の場づくりをめざし、インターネットラジオを開設する。基本的に、オンデマンド方式、定点画像配信を15分程度行う。対象は一般市民とし、ゲストを交えながら、移動スタジオの番組作成も行う。

ラジオは、昨年度開設したホームページ上で定期配信し、相乗効果を得る。

（発信情報の予定）

○くせになるラジオ～カーボンシンキング！

- 第1回 10月 テーマ「森」 びわ湖水源もりづくり月間です。
- 第2回 11月 定例会議又は、環境トークサロン
- 第3回 12月 テーマ「エネルギー」 キャンドルナイト2011 冬至に添えて。
- 第4回 1月 定例会議
- 第5回 2月 テーマ「琵琶湖」 冬冷えることで、琵琶湖が深呼吸します。
- 第6回 3月 定例会議又は、環境トークサロン
- 第7回 4月 テーマ「暮らし」 春、新生活を始めるあなたへ。
- 第8回 5月 定例会議
- 第9回 6月 テーマ「水」 梅雨に水のこと、一緒に考えましょう。
- 第10回 7月 定例会議
- 第11回 8月 テーマ「食」 暑い夏のカキ氷特集。

○カーボンシンクの活動紹介

家庭版ESCO、SSBI省エネガイド、kikitoバンクなどの事業を紹介し、関心を高める。さらに、カーボンシンクの定例ミーティングも、15分程度に編集し、配信する。

《成果と課題》

- ・前半は順調に進めることができたが、中盤以降、活動が停滞した。主な原因は、運営資金の獲得ができなかったことや、事務局人材の不在がある。
- ・安定的の運営には、資金獲得や、連絡体制、編集、WEB更新などを担う、事務局体制の再構築が不可欠である。当面は“現行の体制で出来ること”を検討することも必要である。

事業⑤～⑦は、「Motto エミコロジー事業」として、一括報告する。

《計 画》

⑤ 環境トークサロン事業「Motto エミコロジー ～暮らシンキング!～」

気づきと行動へのきっかけづくりを目的として、一般市民を対象に、毎回、テーマを設定し、気軽に参加できる「環境サロン」を行う。年3～4回、各回25名程度の参加を見込む。喫茶が可能なお店カフェやサロンを利用して開催する。

(テーマ予定)

- 第1回 11月「あれから半年。むこうの暮らし、こちらの暮らし」
ゲスト講師を招き、東北震災から見えてくる私たちの暮らしを考える。
- 第2回 3月(未定)
- 第3回 7月(未定)

⑥ 映画会事業「Motto エミコロジー ～シネマろう!～」

環境分野の垣根を下げ、幅広く関心を高めるため、親しみやすい環境をテーマにした「映画会」と「簡単なトーク」を行う。年1回程度、映画館や市民会館等を借りて開催する。

(上映予定)

- 第1回 平成24年1月「日本列島 いきものたちの物語」試写会を兼ねて開催。

⑦ ファンド事業「Motto エミコロジーファンド ～DO! ナウ～」

寄付口座を開設(エミリンファンド)し、環境貢献支援を行う。寄付者には、ホームページ等を通じて事業経過を伝え、“意志あるお金”を生み出す場とする。

当面は、一口500円程度からとし、「カーボンシンクにお任せ」と「カーボンシンク事業から選択」の2パターンを設ける。原則、寄付であり、資金運用もなく、配当もなしの条件で、事業運営の検討から始める。

《成果と課題》

- ・事業④、⑤、⑥のいずれも、「③ インターネットラジオによる情報発信事業」と同様に、企画検討や相手方への打診等は行ったが、実施に至っていない。スタッフ発掘や資金獲得に至る間は、事業の重点化や現行の体制で出来ることの検討が必要である。

⑧ まちづくり講座事業「ラエルくんの物語 など」

《計 画》

ホームページを活用し、環境まちづくり講座を実施する。

《成果と課題》

- ・「ラエルくんの物語」(第1話から第6話まで)を、継続的にカーボンシンクのホームページにアップすることができた。
- ・環境まちづくり講座については、ホームページの有効な活用方法などが見いだせず、実施

には至っていない。

- ・ホームページへの多様なアクセスを確保するためにも、再度、検討が必要である。

(2) 「その他の事業」

特になし

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
低炭素社会実現に 向けた事業の企画 立案及び実施	①SSBI（滋賀持続可能ビジネスイニ アティブ）事業	通期	滋賀 県内	3名	滋賀県内 30社程度	(50)
低炭素社会実現に 向けた日常生活に 関するアドバイスに かかる、実態調査・ 分析及び情報提供	②kikito（湖東地域材循環システ ム協議会）事業	通期	滋賀 県内	2名	—	0
	③ 滋賀県電器商業組合 省エネ 技術者 講習会（新規）	H24 6	滋賀 県内	2名	30名程度	(10)
低炭素社会実現に 向けた市民啓発・ 情報提供	④インターネットラジオによる情 報発信事業「くせになるラジオ～ カーボンシンキング！～」	通期	滋賀 県内 外	6名	一般市民 企業・自治体 NPO等	(150)
低炭素社会実現に むけた市民啓発・ 情報提供	⑤環境トークサロン事業「Motto エミコロジー ～暮らシンキン グ！～」	通期	滋賀 県内	1名	—	0
低炭素社会実現に 向けた市民啓発・ 情報提供	⑥映画会事業「Motto エミコロジ ー ～シネマろう！～」		滋賀 県内	1名	—	0
低炭素社会実現に 向けた市民啓発・ 情報提供	⑦ファンド事業「Motto エミコロ ジーファンド ～D0！ナウ～」	通期	滋賀 県内 外	2名	—	0
低炭素社会実現に 向けた市民啓発・ 情報提供	⑧まちづくり講座事業 「ラエルくんの物語」	通期	滋賀 県内 外	2名	一般市民 企業・自治体 NPO等	0

(2) その他の事業

特になし